

第 24 回電子情報化委員会 議事録（案）

日時：2006年9月11日（月）17:00～20:00

場所：JCI 会議室

出席者：野口委員長、金久保幹事、伊藤、甲斐、田所の各委員
（事務局）戸口、鳥居南

資料

- 24-0：電子情報化委員会（第24回）議事次第
- 24-1：第23回電子情報化委員会議事録（案）
- 24-2-1：コンクリート工学新潟大会報告原稿
- 24-2-2：新潟大会講演発表準備室業務報告
- 24-3-1：土木学会全国大会・論文集原稿執筆要領
- 24-3-2：建築学会大会原稿執筆要領
- 24-4：年次論文集 Vol.28 執筆要領
- 24-5：PDF 変換ソフトについて
- 24-6：会告用年次論文集 Vol.29 原稿募集原稿
- 24-7：メールニュース登録者数
- 24-8-1：メールニュースアンケート内容案
- 24-8-2：メールニュースアンケート形式案

議事

1. 第23回議事録（案）の確認

第23回議事録（案）が確認された。

- ・ 広報委員会は、9月下旬から活動を始める予定。電子情報化委員会とうまく連携したい。

2. 年次大会関連について

- (1) 金久保幹事から資料 24-2-1,2 に基づき、新潟大会での論文数、発表ファイル受付業務報告の説明があった。新潟大会での論文数は633編、講演ファイル受付は625件であった。
 - ・ USBメモリが計518件で最も多く、MOは9件であった。MOは指定メディアから外してよいかも知れない。（金久保）
 - ・ ファイル容量を調べた結果、制限の20MBを越えるものが21件あった。これらは、高解像度の画像を多数貼り込んだもの、動画ファイルサイズが大きいものである。16MB以下のファイルがほとんどで、ある程度は20MBの制限が効いているようである。動画を扱う場合にはむしろある程度サイズが大きい場合のほうが見やすく、今後の発表形態の変化によっては制限サイズを拡大する方向性もあるかも知れないが、当面は20MBで良さそうである。
- (2) 事務局から資料 24-3-1,2、24-4、24-5 に基づき、土木学会、建築学会の執筆要領、JSBSのpdfに対する問題点の聞き取り調査の報告があった。

- ・ 土木学会の書き方は、「Acrobat 以外でも作成は可能だが、Acrobat での条件を満たすソフトを使用すること」となっている。
- ・ pdf 作成ソフトに関して、事務局側で Acrobat 以外のソフトの使用方法を把握する必要があること、印刷板に関してはフォント埋め込みが必須であること、事務局の機械との相性があること、等の問題点が報告された。
- ・ 種々議論の結果、募集案内、執筆要領とも新潟大会と同様とすることにし、文面は Acrobat 必須として、それ以外の場合は事務局でできる範囲で対応することとした。
- ・ 印刷版は現在 100 部に満たない。印刷版を廃止する時期を、ソフト見直しの機会としてもよい。

3. メールニュースについて

(1) 事務局から資料 24-7 に基づき、メールニュース登録者データの説明があった。

- ・ 8/23 日に登録者数 1,000 名を越え、9/7 現在で 1,033 名（会員 440 名、非会員 593 名）に増加した。
- ・ 1,000 名を越えたので一度会告での案内をやめ、次に例えば 4 月に案内を出す。（事務局）

(2) 金久保幹事から資料 24-8-1,2 に基づき、メールニュースアンケートについて説明があった。

- ・ 「メールニュースを何で知ったか」の項目を追加する。
- ・ 形式は田嶋委員提案のものでよい。最初の案内文に「1,000 名を越える方に」と追記する。
- ・ 準備を整え、10 月のメールニュース発行時から調査を行う。

4. 研究専門委員会ホームページについて

研究専門委員会 HP の現状について、事務局から報告があった。

- ・ 終了分はまとめて整理し、HP に掲載済み。
- ・ 今後、HP の活性化を図るため、HP 担当委員（広報担当）の配置の義務づけ、アクセスログ開示等を研究委員会に提案する。委員長、幹事、秋山委員で連絡を取り合い、必要であれば 10/17 の研究委員会でアクションを起こす。

5. 電子情報化委員会ホームページについて

前回からの提案（研究委員会 HP 作成マニュアル、40 周年記念事業での野口委員長の原稿公開、HP1 周年記念のメールニュースの登録者数データ公開）を引き続き田嶋委員にお願いする。

6. コンクリート工学誌の電子化について

甲斐委員から現状報告があった。

- ・ 12 月号から工事記録にも概要を書いてもらい、HP に掲載する。
- ・ 特集号での趣旨説明文、概要とともに貼り込む写真の HP への掲載について、編集委員会に打診する。

7. 会員専用ホームページについて

会員専用ホームページについて、議論があった。

- ・ 課金をともなわない会員専用ホームページを作ることによって、種々の議論が進展する可能性がある。個人情報管理には注意が必要。
- ・ 認証をどのように行うか議論、調査する必要がある。現在使用しているサーバー会社、ホームページ作成会社および JSBS に調査する。担当：伊藤、田所（JSBS は事務局）
- ・ 建築学会の専用ページが参考になる。

8. その他

- (1) 次回委員会は、2006年11月30日（木）17:00～
- (2) 年次大会査読委員会幹事会 10月2日

<<タスクリスト>>

[短期]

- ・ メールニュース原稿準備（10,11 楠、12,1 三木）
- ・ メールニュースアンケート準備（金久保、田嶋）
- ・ メールニュース活用広報および投稿マニュアル（金久保）
- ・ 研究委員会ホームページ活性化（秋山）
- ・ 電子情報化委員会 HP 整備（田嶋）
- ・ コンクリート工学誌電子化に関する窓口（甲斐）
- ・ 会員専用ホームページ検討（伊藤、田所）
- ・ 年次大会執筆要領、テンプレート（金久保）

[長期]

- ・ コンクリート工学論文集の電子化、検索システム
- ・ 電子化全般：メリットデメリット、事務局の方針、理事会等への提案、広報委員会との連携
- ・ (会員証のカード化)
- ・ (課金システム検討)